

医療安全文化の醸成

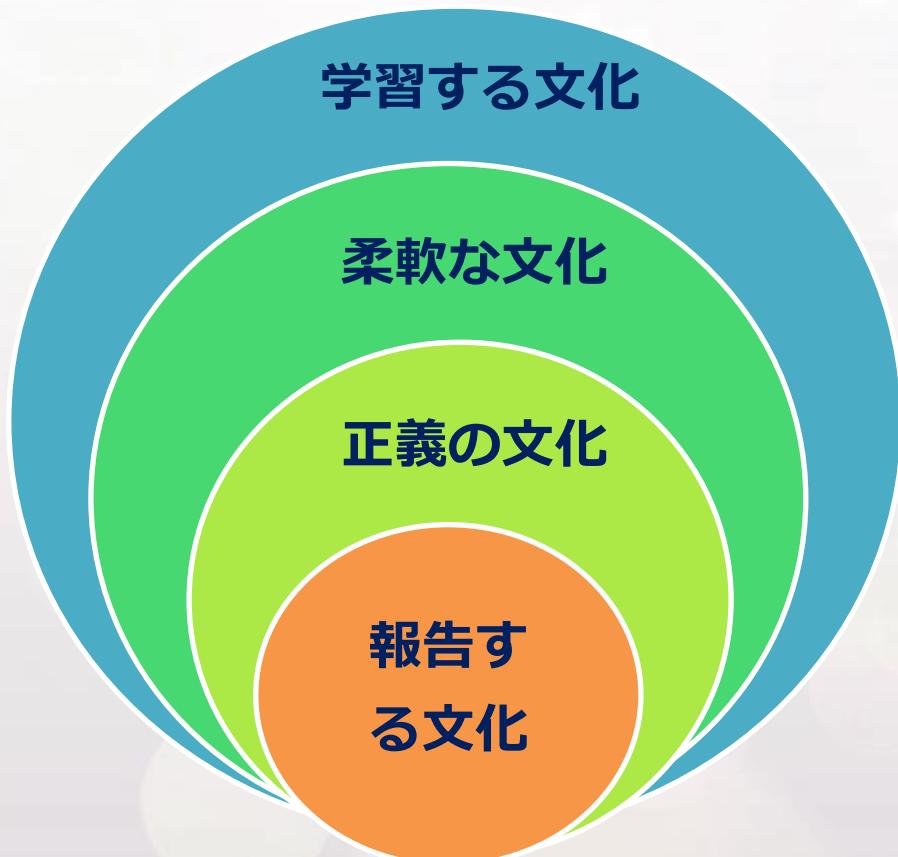
コンプライアンスからコミットメントへ



1. 医療安全文化の4要素

組織文化とは・・・組織の成員による行動様式の体系

安全文化とは何か～・・・医療安全文化には4つの要素



①報告する文化

安全文化を構築する上で基本・・・「情報に立脚した文化」

「情報」 = 安全あるいはリスクに関する情報の全て
組織において利益となる情報は、可能な限り報告
安全文化を築く上での土台となる

逆に言うと

「報告する文化の無い組織」 = 安全文化を構築するための土台がない
現場からのフィードバックが存在しない
実態を正確に把握することができない

報告する文化は「報告制度」

報告する文化と報告制度は同義ではない

報告することの重要性を理解してもらい敷居を可能な限り低くすること



②正義の文化

正義の文化とは・・・別の言い方をすると「公正な文化」

「報告する文化」と密接な関係にある文化

「罰しないこと」が前提

事象そのものでなく、どう発生したかを問う

著しい不安全行動があった場合、しっかりと見定めた上で是正する文化

舵取りを誤ると、組織的なコンフリクト(葛藤)を生み出す

処罰！



今後が大事！



コンプライアンス
コミットメントを促進する



起きた事実を報告して、それを組織で**共有する**

③柔軟な文化

柔軟な文化とは・・・変化する状況に適時適切に対応する文化

レジリエンスの概念に近い「弾力性」「回復力」「しなやかな強さ」**柔軟な文化**

「多様性」

年齢や経験、職種の違う様々な人間で構成された組織は、
画一的な組織よりも「しなやか」

対比

ルールに縛られた画一的で軍隊的な組織
組織は頑強なもの
ひとたび頑強さが崩れると、いっきに瓦解する



レジリエンスの高い組織

多様性があり、しなやかで「折れにくい」組織
「風通しの良い」組織風土

